



しろね図書館だより

No.147

~ Since 2000 ~

発行 新潟市立白根図書館

新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510

shirone.cl@city.niigata.lg.jp

平成24年8月発行



一部図書館で臨時的に土・日・祝日の
開館時間を拡大いたします。

くらしのなかに図書館を

拡大期間7月21日(土)~9月30日(日)

家庭の節電対策の一環として、夏の日中を公共施設で過ごしてもらおうと設けている

「コミュニティオアシス」の利用拡大のため、一部の図書館で臨時的に開館時間を拡大しています。

| 対象施設 | 開館時間 | |
|-------------|------------|------------|
| | 土曜 | 日曜・祝日 |
| ほんぽ一と中央図書館 | 午前9時半~午後8時 | 午前9時半~午後6時 |
| 豊栄・新津・白根・西川 | 午前9時半~午後7時 | |

白根図書館夏休み行事 開催のお知らせ



図書館員になってみる日

図書館の仕事体験してみませんか。
この夏は、しろね図書館で図書館員に
なりきろう!

こわ〜いおはなし大会

今年もあうね!

8月11日(土) 場所: 白根図書館おはなしのへや

- ①10:30~11:00 (小さい子向けに絵本を読みます)
- ②11:00~11:30 (絵本とおはなし)
- ③11:30~12:00 (おはなしいっぱい)

申込みは要りません。

当日は、直接おはなしのへやに
おいでください。



8月25日(土)

●午前 9:00~11:30 (4名まで)

●午後 13:00~15:30 (4名まで)

定員になりしだい受付をしめきります。

対象 小学校4年生~6年生

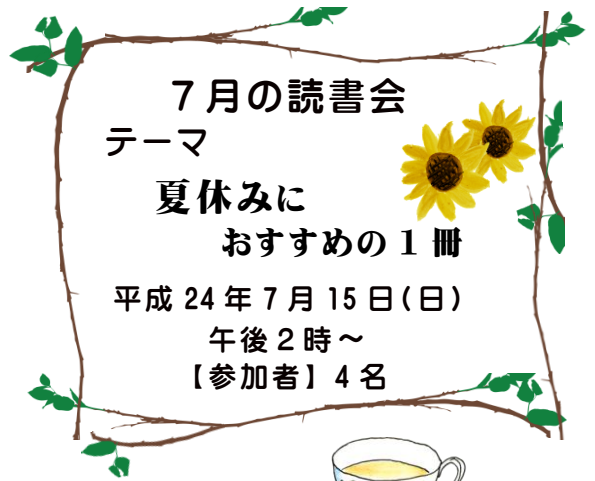
体験内容

図書館の仕事 (本の貸出や整理など)

申込み方法

8月5日9:30から受付を開始します。

しろね図書館 025-372-5510 まで



7月の読書会
テーマ
夏休みに
おすすめの1冊
平成24年7月15日(日)
午後2時～
【参加者】4名



おいしい紅茶を、一緒に。

「夏休み」という言葉に、ちよつと切なく懐かしい思いを抱いている、かつて子どもだった大人、今も子ども心いっぱいの方が集いました。夏休みは一つのものに夢中になれる時間。自分の好きなことを、自分の時間で存分にやって、子どもたちは夏休みに大きく成長します。大人だって、きつとまだまだ成長できるはず…。

- 『二年間の休暇』 ジュール・ベルヌ作
『十五少年漂流記』の題名で親しまれてきた冒険物語。8才から14才までの少年15人が無人島に漂着し、困難を乗り越えていく。集団行動や、大人になるというところが、少年たちの行動を通して具体的に書かれている。原題に沿えば「休暇」という書名になるのだろうが、「休暇」からイメーヂするような生易しい話ではない。中学生以上にすすめたい。
- 『参加者の方が紹介してくれた本』

● 『ファーブル昆虫記』 ファーブル著
ワクワクしながら、飽かず虫に見入っていたことを思い出す。ぜひ全巻を読みたい。

● 『知的好奇心』
波多野誼余夫、稲垣佳世子著 中公新書
義務的な仕事の発想ではなく、遊びからの発想・好奇心が大事。好きなものだからこそ、真剣に探求・追求していける。

● 『双調 平家物語』 橋本治著 中央公論社
莊重にして騒々しい。二つのトーンで織りなす橋本治流平家物語。

● 『チエルノブイリの祈り…未来の物語』
スベトラーナ・アレクシエービッチ著
松本妙子訳 岩波書店
著者はウクライナ出身。原発事故の10年後に、現地の人々に取材したインタビュー集。

● 『百日紅の咲かない夏』 三浦哲郎著 新潮社
日常を淡々と描写。最後、思いもよらぬ結末に驚かされる。人生はいろいろあるなあと思う。文体がすばらしい。

● 『ゲド戦記』
ルリグウィン作 清水真砂子訳 岩波書店
深い思想と緻密な構成で、架空世界を作り上げているハイファンタジー。深くてももしろい。

● 『こんな話題も』

◎ 古典は残るべくして残ったもので、作品に力がある。読むたびに新鮮。

◎ 「仕事は楽しく、遊びは真剣に」をモットーに本との出会いは偶然である。読み手が、世の中の有様や人の生き方、真実に対して、問い続けているから、本を読む喜びも大きいと思う。

◎ 言葉や行動の答えや解釈は一つではない。本もいろいろ読み方をしていける。

◎ 本を読むことは能動的なことだ。

次回の読書会

8月19日(日)午後2時～

8月の読書会のテーマ

会場 白根学習館ルーム2



おもわず **ぞっと**
する本

申込みはいりません。
気軽に本のお話をしましょう。
おいしいお茶とお菓子を用意してお持ちしています。
しろね図書館友の会共催

暑い夏には、やはり怪談でしょうか？
人の心の深淵を覗くような、ミステリー？
それとも…
読みながら震えあがった本、
ひんやりしてきた本をお持ちよりください。



・本は、とにかく読むこと、読み続けること。
・若い人たちも本を読み続けてほしい、という熱い思いのこもった読書会でした。
・読書会で紹介された本の一部は、白根図書館ミニ展示架に並べてあります。ぜひ、手にとってご覧ください。



暑い夏がやってきました。

夏といえば、海、夏祭り、スイカ、カキ氷、プール・・・など色々思い浮かびますね。そんな中で、この本は、“プール”が舞台。2000年から2002年まで刊行された『ダイブ』の1～4巻を1冊にまとめたものです。



『DIVE!!』
森絵都／著
角川書店

主人公・知季は、ミズキダイビングクラブ（MDC）という飛び込み専門のスポーツクラブに所属する平凡な中学生。恋に、飛び込みに・・・自分はずいぶん中途半端だと感じています。そして、そのなんとなく続けていたMDCも経営悪化や成績不振により、存続の危機に。しかし、そこに突然「このクラブを守りにきた」という女性コーチ・麻木夏陽子が現われ、存続の危機だった弱小クラブの雰囲気も知季自身も、どんどん変わっていきます。クラブ存続の条件は、なんとクラブ内からオリンピック選手を輩出すること・・・！！
いったいどうなってしまうのでしょうか。

私が作中で印象に残っているのは、麻木コーチの「失ったとたんなんとなく大切だったように思えてきただけよ。本当に大切だったら大切にしているわ、失わないように。」という言葉です。このコーチは少々きついことを言う方ですが、はっきりしていてかっこいい、みていてすっとする女性です。また、主人公・知季が葛藤しながら成長していく姿もとても魅力的です。

少し厚めの本ですが、休暇も多い夏、この本の世界に“飛び込んで”みませんか？



くまの木をさがしに



佐々木マキ／作
教育画劇
2012

誕生日が近い女の子は、プレゼントにどうしてもほしいものがあります。そこで誕生日の神様にお手紙を書くことにしました。

「せかいいち かわいい くまのぬいぐるみを ください。おねがいします」

すると神様からちょっと変わったお返事が届きます。「くまの木にいて、じぶんでえらびなさい！」女の子は神様がくれた地図をたよりに出発します……。

同じ作者の書いた、足の遅いおおかみとぶたの実がなる木が登場する、「ぶたのたね」とくらべて読んでみるのも面白いかもしれませんね。

(田村)



さようなら ありがとう Book Bus コーナー

南区の学校に親しまれてきた白根図書館ブックバスですが、残念ながら今年度末で運行を終了することになりました。ブックバスの足跡を紹介します。



図解！ THE ブックバス

停車中のブックバスです。
走っている時はもちろん、停まっているときも、安全第一です



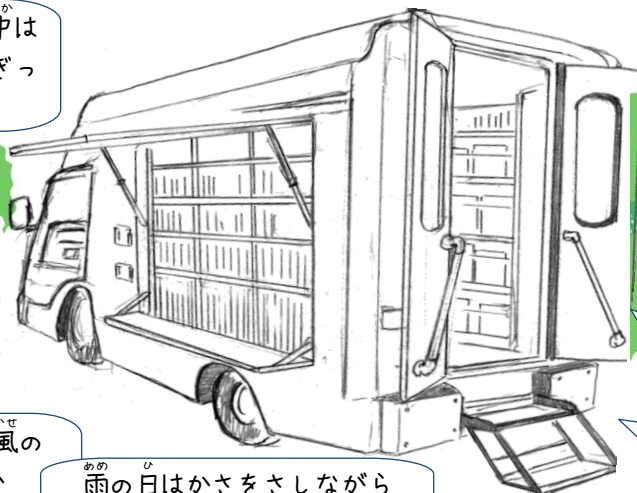
前から見ると
こんなかんじ



両脇の扉を開けると、中は本棚になっていて、本がぎっしり。たくさん読んでね

小雨程度なら、開いた扉が屋根代わり。ビニールのおおい（カーテン）も用意してあるのですが…

でも、大雨の日や、風の強い日は、なかなかうまくいきません



雨の日はかささしながら上手に利用してくれましたね

バスの中にも本がいっぱい。絵本は表紙を出して、ならべてあります

停車中は車内にあかりをつけることができます

手すりもついています。中に入る時は転ばないように気をつけて！中に入れるように、ステップを引き出します。

ブックバスは、児童書を中心に約1600冊の本を積み、だいたい2週間に1度、南区内の小学校を巡回しています。

図書館と同様に、新潟市立図書館の「貸出カード」で利用できます。

8月のブックバス



- ★学校の夏休み中、ブックバスはお休みします。
- ★9月3日から再開します。
- ★ブックバスで借りた本は、新潟市の図書館でも返すことができます。どうぞ、おいでください。

9/5までの行事

おはなしのじかん
毎週土曜日

絵本のよみかたり 14:10～
ストーリーテリング 14:30～

おはなしかご例会
第2、第4週土曜日

8/11 おはなし大会のため
例会はお休みします
8/25 (ル-4 4・5) 10:00～

8月11日(土)

こわーいおはなし大会

8月19日(日)

読書会(ル-4 2) 14:00～

8月25日(土)

図書館員になってみる日

9月5日(水)

ブックスタート(南区)
1歳誕生歯科健診会場

白根図書館休館日
(毎週金曜日と毎月第1水曜日)

8/3(金) 8/10(金) 8/17(金) 8/24(金) 8/31(金) 9/5(水)

今月の展示架

8/2～9/4



おじさんたちの夏休み これがおじさんの生きる道

女房にも、娘たちにも相手にされなくても…、おじさんは決してくじけず、自分だけの夏休みに人知れず微笑んでいるのです。

生きていればこそその人生！

死んで花実が咲くものか！



7月の来館者数…………… 17,792人